

● アジサイ祭り (街並み部会)



▲ 手入れの中休み パチリ記念写真

玉川児童遊園沿い遊歩道の植栽整備は、街並み部会としては、今年度始めたばかりである。

長年、リリーの会が公園を中心に手入れし、遊歩道には、たくさんのアジサイが植えてある。

このアジサイの花がきれいに咲く時期に近隣の方々との交流ができればと思い、アジサイ祭りと呼んで6月15日(水)に懇親会を開催した。

当日は、梅雨時らしい霧雨が降る中、部員は10時に集合し、恒例の雑草とりを実施。併行して、玉川町五丁目住宅集会所の会場準備を進め、近隣の方々の参加を待った。

11時に植栽整備を打ち切り、部会で植えたトピアリーと、見頃のアジサイをバックに記念写真撮影。

集会所に場所を移し、昼食を取りながらの懇談会となった。

懇談会から、遊歩道脇にお住まいの百瀬美代子さんが参加してくださり、昔話に花が咲いた。

百瀬さんが引っ越してきた昭和三十年代の遊歩道や、旧五鉄通りの様子。昭和四十年代の大火事や、ボウリングブームの話など楽しい時間を過ごした。

話を伺いながら、昔の景色を想像し、美しい景色とは、物理的な街並みだけでなく、行き交う人々の交流が有って、すてきな風景をつくるのだろうと感じた。

歩きスマホが問題の昨今、景色を楽しみながら歩けるように今後も、玉川児童遊園脇の遊歩道で植栽整備等の活動を推進する。
(街並み部会 部長 / 菅谷 厚史)

● 第32回まち歩き「奥多摩の渓流を歩く」

自然と親しむ部会(部長/福田勝利)は、昭島を離れて奥多摩の渓流を歩くことにした。7月23日(土)は、梅雨の合間の蒸し暑い天候であったが、奥多摩は涼しくて爽やか。

JR青梅線の軍畑(いくさばた)駅で下車。南下して多摩川の遊歩道に下り、上流に向かって歩く。遊歩道は、想像していたより起伏が激しく、早くもバテ気味。

川幅は狭いが、水量は豊か。巨岩にぶち当たって出来る急流は、カヌー競技の練習場や鮎釣りに最適である。

ウグイスの鳴き声を聴き、多摩川の渓流に迫る山々を見上げながら名句が沢山できそうな気分になる。

ちょうど疲れた地点に、奥多摩の誇る創業300年の小澤酒造があり銘酒「澤乃井」のお休み処がある。名物の「酒まんじゅう」と清酒少々で元気を回復して、渓流歩きを続ける。

まち歩きの終点は御岳(みたけ)駅。青梅線で中神駅に無事帰着。参加者10名。心配した熱中症患者もなく、楽しいまち歩きのコースであった。最後の締めは、駅前の居酒屋で反省会を小規模に開催。

(取材・写真 / 広報部会)



▲ なかなかきついな



▲ 参加したまち歩きメンバー